

福島第一原子力発電所事故関連情報のアーカイブズ活動と放射性廃棄物管理に関わる情報の保存に向けた示唆について

Archival activities for the information on the accident of Fukushima Daiichi Nuclear Power Stations and the suggestion to the information management on radioactive waste management

原子力機構 (JAEA) 五十嵐寛、池田貴儀、米澤稔、中嶋英充
Japan Atomic Energy Agency (JAEA): IGARASHI Hiroshi, IKEDA Kiyoshi, YONEZAWA Minoru and NAKAJIMA Hidemitsu

1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災による福島第一原子力発電所 (福島第一) 事故 (以下、福島原子力事故) が発生して以来、事故やその後の対応等に関わる膨大な情報が政府、発電事業者、関係研究開発機関等から発信されてきている。これらの情報を福島第一の復旧や廃止措置、事故が原因で汚染された地域での放射線管理、環境回復、避難計画策定、事故の再発防止等に役立てるためには、その情報の適切な保存・継承 (以下、アーカイブズ) が必要である。また、このようなアーカイブズの活動は、日本国内のみならず国際的にも共通の知識として後世にわたって共有・活用する上で重要である。一方、最終処分まで見通した放射性廃棄物管理に関わる情報の保存・継承についても重要と考えられている^[1]。

2. 情報の保存への社会的要請と福島原子力事故情報等に関するアーカイブズ活動事例

防災や自然科学研究の分野においてデータや成果のアーカイブズ活動の実施例がある。東日本大震災に関わる情報について、その保存の必要性が早くから認識され (復興庁、日本学術会議)、国立国会図書館による「ひなぎく」のような災害情報を広く保存する事業、放射線測定データの保存 (物理学会他)、及び福島原子力事故に関するアーカイブズ活動が進められている事例^[2,3]がある。

3. 原子力機構が進めている福島事故情報に関するアーカイブズ活動

福島原子力事故以降に国や自治体、大学、研究開発法人、東京電力等から Web 等を通じて発信されている事故関連情報について、国や学术界等から事故関連情報の保存の必要性が提言されている。事故発生後間もない時期から日本原子力研究開発機構 (原子力機構) は、過去の事故対応に係わる文献情報に関する多くの問い合わせに対応する形で参考文献情報のリスト化と Web での公開を進めてきており^[3,4]、平成 24 年度には約 20 万件、25 年度で 14 万件近いアクセスがあった。さらに事故対応や事故再発防止に向けた今後の原子力研究開発を支援する取り組みとして、文献情報と Web 情報を対象に書誌情報等を保存・発信する「福島原子力事故関連情報アーカイブ (福島アーカイブ)」を試作した^[5]。2014 年 1 月にはその取り組みが本格化するに至り^[6]、2014 年 6 月には外部から利用可能な形で公開している^[7]。図 1 にその取り組みの概要を示す。福島アーカイブの構築に当たり国立国会図書館が進める「インターネット資料保存事業 (WARP)」に保存された情報とリンクすることによ

りインターネット情報への恒久的なアクセスを確保するとともに、国際原子力機関 (IAEA) が作成している原子力事故関連のタクソノミーを活用し、書誌情報等を IAEA の国際原子力情報システム (INIS) に提供するなど国際機関との連携を図っている。

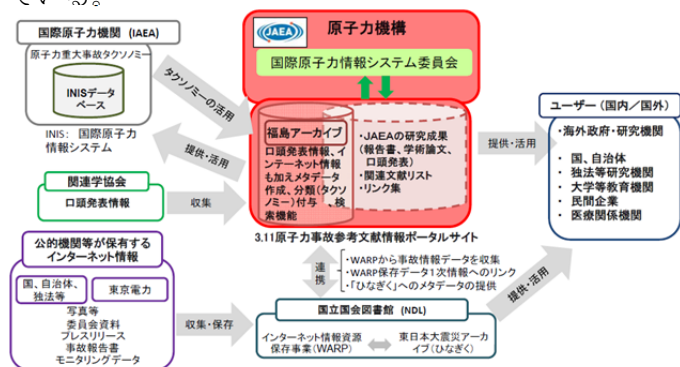


図1. 「福島アーカイブ」構築への取組み
(福島アーカイブ: 福島原子力事故関連情報アーカイブ)

4. 放射性廃棄物管理情報の保存に向けた課題

原子力事故に因るか否かに係わらず原子力の利用に伴い発生する放射性廃棄物の最終処分までの管理は長期間にわたり、ステークホルダーが多くの領域に及ぶとともに、国際的にも共通の課題となっている。このような特性から廃棄物管理に関わる情報の保存が重要となり、求められる保存期間も長期にわたる。研究活動や福島原子力事故に係わるアーカイブズ活動事例から、利用者による利便性、保存対象とするデータの範囲、長期保存の法的な保障などの課題、保存情報の廃棄物管理タクソノミーの構築の必要性、アーカイバルコミュニティとサイエンスコミュニティとの連携の重要性などを教訓として汲み取ることができる。

引用資料

- [1] 例えば、IAEA-TECDOC-1097 (1999)
- [2] 国立国会図書館, ひなぎく NDL 東日本大震災アーカイブ, <http://kn.ndl.go.jp/>
- [3] 原子力機構, 「3.11 原子力事故参考文献情報ポータルサイト」, http://jolifukyu.tokai-sc.jaea.go.jp/ird/sanko/fukushima_sanko_top.html
- [4] 池田他, 日本原子力学会誌, Vol.54, No.8 (2012) p549-553
- [5] 中嶋他, 情報知識学会誌, Vol.22, No.4(2012) p344-353
- [6] 原子力機構, プレスリリース「東京電力福島第一原子力発電所事故関連情報アーカイブ化への取組みの本格化」, 2014 年 1 月 24 日 <http://www.jaea.go.jp/02/press2013/p14012401/index.html>
- [7] 原子力機構, プレスリリース「福島原子力事故関連情報アーカイブ」公開について, 平成 26 年 6 月 23 日, http://jolifukyu.tokai-sc.jaea.go.jp/ird/sanko/archive_koukai.html